

## 県東地区PTA指導者研修会で発表

詳しくご紹介していませんでしたが、本校の男庭会長は、市P連副会長及び県東地区P連理事をしています。会合も多くご苦労様です。それとは別に、今年県東地区指導者研修会での発表が当番で、先日行ってきました。大変立派に役を果たして下さったこと伝え聞き嬉しく思います。ここに、レポートのみご紹介いたします。(紙面の都合上一部省略)

テーマ「学校、家庭、地域社会の連携を担うPTA活動の在り方」

その他の活動 子ども達の学習環境を整備するための支援活動

行方市立小貫小学校 PTA 会長 男庭 聖一

### 1 はじめに

先の震災において、校舎が使えず外部で学習活動を強いられた県内11校のなかの1校になってしまった。会員の家庭でも職場でも大混乱の中、小学校の教育活動を平常に戻すべく緊急の支援活動を行った。

### 2 学校・地域の概況

児童数69名、複式学級もある小規模校である。現在は緊急避難的に北浦中学校に間借り生活をしている。(三和小学校も同様)北浦地区の統合小学校が進んでいるが、開校は28年度になりそうである。

地域がら学校教育に協力的で、授業参観・奉仕作業等への参加率もよい。PTA活動も各専門委員会ごとに自主的な運営をしている。地域ぐるみの運動会・学校で取れたサツマイモでの収穫祭等特色ある活動も充実している。

### 3 諸活動

#### (1) 小貫小で最後の卒業式を

3月12日には立ち入り禁止のテープが張り巡らされた。卒業式が小貫小学校で行う最後の行事になると直感した。子ども達や学校職員の願いを叶えたいと奔走した。

- ・ 市教育委員会への働きかけ
- ・ 保護者会(3月16日 14:00)
- ・ 式場(体育館)とその周辺の整備
- ・ 当日の式運営の支援 他

3月23日(水)に第64回卒業式及び平成22年度修了式と離任式が実施された。練習は十分でなかったが、心のこもった立派な卒業式になった。卒業生にとっても最後の行事が本校で行われ「気持ちの整理がついた」という声が聞かれた。60分で卒業式・修了式のほか、離任式も盛り込まれた。少し早い離任式となったが、転出される先生方とのお別れの機会が無事確保できてよかった。

#### (2) 北浦中学校への移転

新年度の移転先が決まったのは、3月25日の会議であった。

- ・ 関係者調整会議(3月25日)にて移転先:北浦中に決定
- ・ 保護者会及びPTA合同委員会(3月28日)
- ・ 教室関係備品の移動(4月2日)
- ・ 平成23年度小貫小学校入学式 北浦中体育館において非常に短期間のうちに移転作業を行うこととなった。市教委



も移転先決定に当たってはよく調査して納得のいく選択肢を用意してくれた。移転作業に当たっては、関係者が協力して行った。入学式は不似合いな広さの講堂で立派に行われた。

### (3) 学習環境の整備への支援

新天地では、何かと不自由なことであった。学校は、教育活動を委縮させないとの方針を明らかにしていた。PTA ができることは何でもする用意があった。

- ・ 農園の借用及び学習ボランティアの協力
- ・ 遊具等の運搬及び購入整備
- ・ 図書コーナー設置のための書架と図書寄贈
- ・ 読み聞かせの定期実施



農業体験は、小貫小の特色ある活動でもある。10aほどの畑を正門前に借用し、早速ジャガイモの植え付けからスタートした。なかなかの収穫だったと聞く。サツマイモ150m分の植え付けを支援した。子ども達の活動としては、秋の収穫祭や特養ホームへの車イスの寄付などにつながっていくとのことである。

### (4) 震災後の安全対策

学校外の安全については、PTA や地域の協力が必要になる。改めて検討してみた。

- ・ 緊急連絡網と緊急時の引き渡し
- ・ 登下校時の送り迎えの車の流れのコントロール
- ・ 児童下校時の不審者対策パトロール
- ・ 震災による危険箇所の点検及び情報共有、立て看板等の補修
- ・ 旧施設の使用約束および指導



今回の経験から、安全対策に「絶対」はない。労力との兼ね合い、落とし所も模索してきた。「見守り隊」等の活性化は欠かせないところである。

### (5) 旧施設の手入れ

被災した小貫小学校は、依然立ち入り禁止の状態である。先に統合の計画があるため復旧の動きはない。地域としてもシンボリックに大切にしてきた施設である。

- ・ 運動場のみの復旧を市に要望、実現
- ・ 奉仕作業の実施（5月21日、7月23日）
- ・ 花壇の整備

運動場が復旧したことで、子ども達のキックベースボールの練習、パパさんソフトの練習等が可能となった。しかし、水、トイレ、電気等は使用できないままである。校舎中央前庭の100周年記念の石碑には「村びとのこころ育てたこの聖地」とある。どのように手入れを続けていったらよいのだろうか。



## 4 おわりに

通常の事業計画による活動は、順調に行われてきた。7月30・31日には1泊の研修旅行が催され、多くの学校職員も参加してくれたので懇親を深めることができた。9月17日には秋季大運動会が北浦中を会場に盛大に行われた。

一つ不安に思うことは、24年度以降4年間の身の振り方が決定していないことである。今後とも、学校と車の両輪であることを目指し、地域の実働部隊であり続けたい。この心意気を学校の名が消えても持ち続けたいと思う。